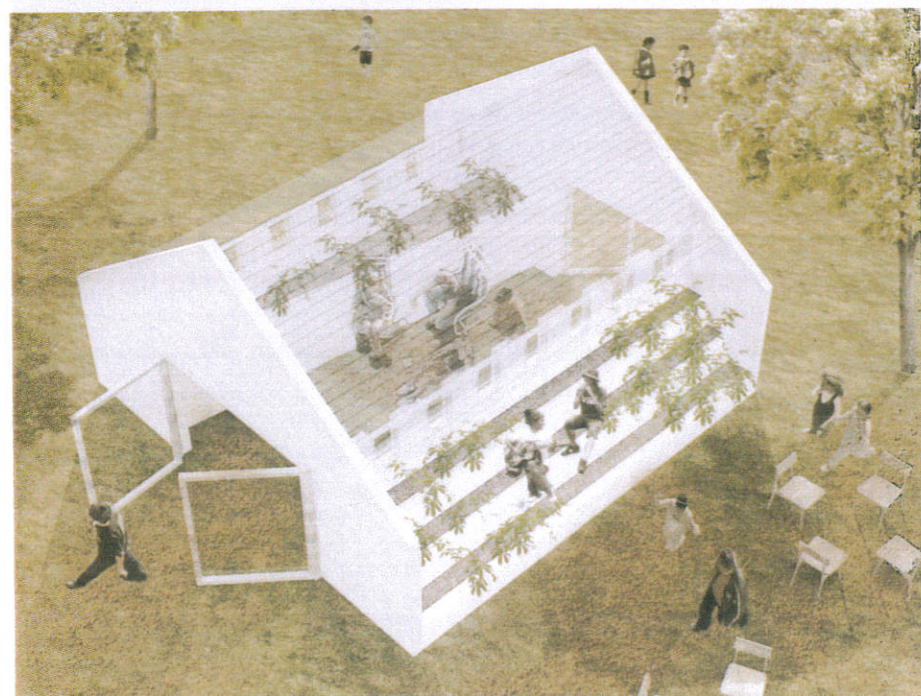
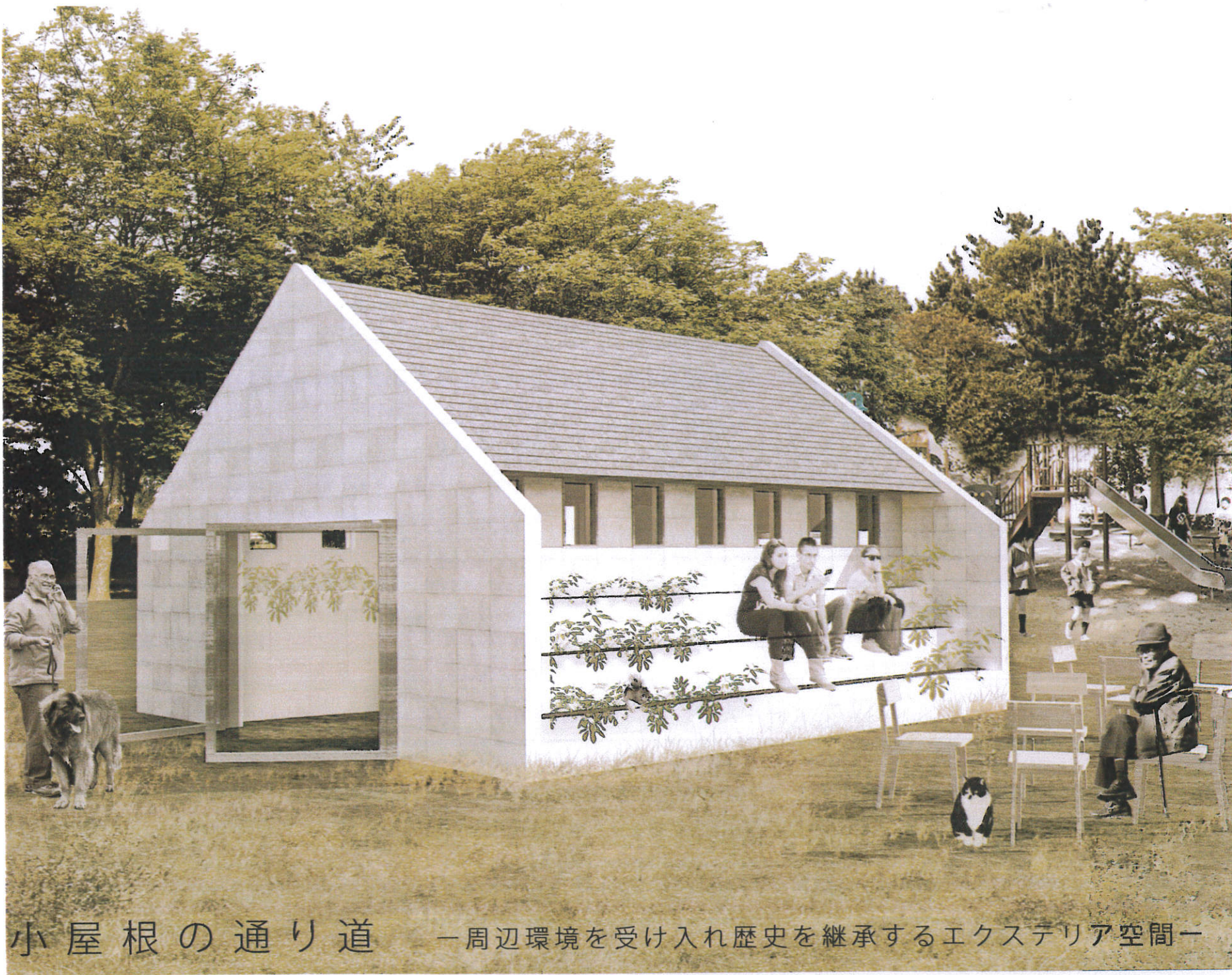




Concept

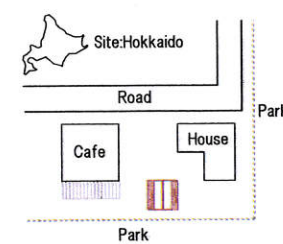
周辺環境を受け入れることで多目的な用途を生むエクステリア空間を目指す。

敷地は北海道の公園とカフェに隣接する土地とする。

北海道においてコンクリートブロックは 1960 年代北海道住宅供給公社によるコンクリートブロック造住宅(三角屋根住宅)が馴染みが深い。その三角屋根の形状を継承しつつ、アイヌの伝統民家(チセ)の地熱利用取り入れる。

隣接するカフェと公園へはブロックを積んだ段差空間を面するように配置する。そのことによってカフェに対してはベンチスペース、公園に対しては植栽による視覚的な繋がりを得る。

周辺環境を受け入れることによって内部空間はカフェと共同でのイベントスペース、子供達の遊び場などの様々な用途が生まれる多目的な場となる。



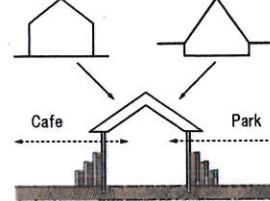
敷地は北海道のカフェと公園に面する場とする。



北海道は 1960 年代に多く建設されたコンクリートブロック造の三角屋根住宅が原風景として残る。



アイヌの伝統住宅「チセ」は地熱を利用した住居形式となっている。



周辺環境・歴史を継承し、コンクリートブロックを利用したエクステリアを設計する。

